

強化選手認定サイクル補足資料
各種目の NT/Next NT ターゲット順位(%)と数値算出ロジックについて
(2024 年 12 月版)

公益財団法人日本セーリング連盟 オリンピック強化委員会

1. はじめに (本件経緯と制度見直しの概要)

Paris2024 オリンピック競技大会(以下「Paris2024」という。)までのオリンピック強化委員会(以下「オリ強」という。)の強化選手認定制度下においては、とりわけ NT 及びシニア強化(現:海外派遣、Next NT、NT)選手の認定について全種目一律でのターゲット順位(%、シニア強化:60%以内、NT:50%以内等)を使用してきた経緯にあるが、実際の国枠獲得の難易度は参加国数やアジア強豪国の状況等により、種目毎にある程度の差異が存在するのが実情である。LA2028 オリンピック競技大会(以下「LA2028」という。)以降において継続的に多くの種目で国枠獲得を達成する為には、直近大会における種目別の国枠獲得状況を過去のデータ等を参照しながら、選手/コーチ/強化委員会その他の関係者が都度正しく把握することが肝要であると考えられる。

他方で、従前においてはコロナパンデミックや種目の変更に伴うデータ不足に起因し上記ニーズに対して有意な結果・結論を導き出すことが困難であったが、この度 2022 年～Paris2024 までの3か年、一連のオリンピックキャンペーン期間全体に亘るデータ蓄積が完了したため、過去大会実績に基づく各種目別のターゲット数値を設定することと致したい。

具体的な NT・Next-NT のターゲット数値の設定及びその適用方法については、まず NT=国枠獲得可能、Next-NT=国枠獲得まで3～5枠(参加国数と国枠数によって変動、詳細後述)のビハインドと定義付け、複数の過去大会において国枠獲得シミュレーションを実施、それぞれについての上記 NT、Next-NT 条件を算出したうえで、平均値をターゲット順位(%)に設定することとした。

対象の大会については、各種目の最高峰大会の位置づけである種目別世界選手権(Sailing World Championships を含む)に、毎年同一の場所・期間で定期的開催され安定的な参加者(国)数が見込まれるプリンセスソフィア杯(4 月、於 西パルマ)を加えることで、開催場所に起因する当該大会への参加者(国)数の著しい上下といった、世界選手権で発生し得る可変要因を極力カバーしている。また、期間については上述の通り種目変更・コロナパンデミック等の特殊要因から脱したと言える 2022 年～2024 年の合計 6 大会の数値を使用し、そのアベレージを目標値とすることで大会毎の特殊要因に基づくボラティリティを抑制した。なお、翌年以降のターゲット数値設定にあたっては前年の上記大会の数値を加えて平均値を算出し直す予定である。

また、国枠の獲得ロジックについては、現時点で LA2028 向けのロジックが国際競技団体(World Sailing)より提示されていないことから、直近の Paris2024 のものを援用することとし、LA2028 向けのロジックが World Sailing より提示され次第、以降の認定大会に際して新ロジックに読み替えをすることと致したい。

上記アウトラインに基づき、2025 年の強化指定選手 (NT、Next NT) 認定大会において使用するターゲット順位(%)については下記 1. の通りとする。また、ターゲット順位算出にあたっての各種ロジック・前提条件について下記 2. の通り、認定時の具体的手法については下記 3. に定める通りとする。

2. 各クラス毎の NT, Next NT ターゲット順位 (%) 2025 年版

クラス	470	49er	FX	Nacra17	ILCA7	ILCA6	iQ		Kite	
							男子	女子	男子	女子
NT	53.8%	38.9%	54.7%	62.4%	42.0%	71.7%	40.4%	53.3%	41.5%	
Next NT	73.3%	56.2%	73.7%	72.7%	50.0%	79.9%	51.4%	63.4%	57.4%	

※大会毎の詳細計算内容については別紙エクセルファイル『プリンセスソフィア・世界選手権 2022 -2024 国枠シミュレーション』を参照のこと

3. ターゲット順位(%) 算出ロジック

・ターゲット順位(%)算出対象大会

- ①2022 年～2024 年の各種目別世界選手権(Sailing World Championships を含む)
- ②2022 年～2024 年の各プリンセスソフィア杯

・算出に使用する国枠獲得ロジック

World Sailing が発出した『Qualification System Paris2024』(*1)

・ターゲット順位(%)算出方法

- ①上記国枠獲得ロジックを使用し、各対象大会における国枠獲得シミュレーションを実行。その際ホスト国はフランス→アメリカに変更。
- ②大陸(アジア)枠あるいはラストチャンスレガッタ枠に該当する最も%数値の大きい国のうち、より数値の大きなものを NT のターゲット順位に設定。なお、他大陸の参加国不在に伴う増枠分や Developing Nation といった制度上の優遇条件は勘案しない。
- ③②の NT 順位から 3 枠、ないし 5 枠分後ろの国の順位(%)を Next NT のターゲット順位(%)に設定。Next NT に該当する範囲は原則的に NT 順位から 3 枠までとするが、参加国数が国枠数(世界選手権枠+大陸(アジア)枠+ラストチャンス枠の合算)の 2 倍を上回っている大会については通常対比で競争率がより高い大会と見做して 5 枠に設定。
- ④①～③にて算出した各大会における NT, Next NT ターゲット順位(%)の平均値を算出し、2025 年の各種目別のターゲット順位(%)とする。

(*1)<https://stillmed.olympics.com/media/Documents/Olympic-Games/Paris2024/Paris2024-QS-Sailing.pdf>

4. 認定時の計算方法

認定大会の総合成績を参加艇数(全レース DNC の艇を除く)で割り返した%が、上記の NT,Next NT ターゲット順位(%以下であれば、それぞれ NT, Next NT として認定を行う。

以上